

- ✓ 食品ロス削減へ高まる機運
- ✓ 事業活動報告（資源循環、森林再生）
- ✓ SEF からのお知らせ

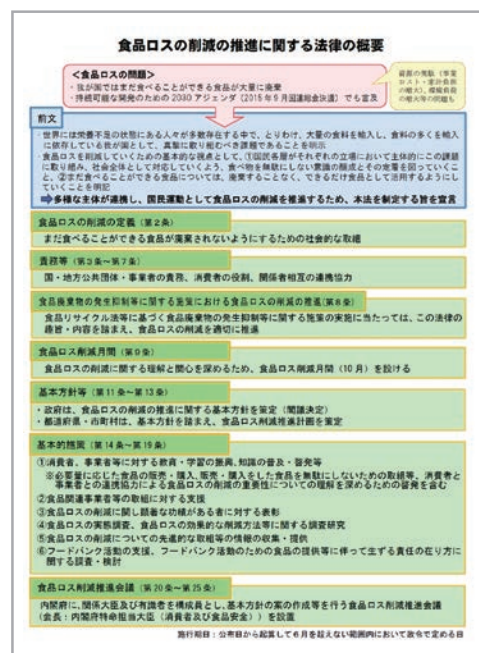


トピックス

食品ロス削減へ高まる機運～食品ロス削減推進法の施行を受けて～

食品ロスの削減を総合的に推進することを目的とした「食品ロスの削減の推進に関する法律」（略称 食品ロス削減推進法）が、10月1日に施行されました。この法律では毎年10月を「食品ロス推進月間」とし、消費者庁、環境省、農林水産省、各地方自治体などが中心となって取組の推進に向けた普及活動を展開する中、メディアでも「食品ロス」に関する話題が多く取り上げられ、注目度はますます高まっています。

政府は本年度中に、食品ロス削減推進法に基づく基本方針の策定を完了させるとしていますが、この注目度の高まりを一過性のものとせず、食品産業が主体的に食品ロス削減に向けた取組みを推進し、消費者に取組みの必要性を啓発し続けることが重要です。消費者庁では、食品ロス削減推進に関するポータルサイトを立ち上げ、事業者向け、消費者向けに様々な情報を随時更新していますので、参考にはいかがでしょうか。



出典：消費者庁ホームページ
(画像をクリックすると拡大して表示されます)

消費者庁

[食品ロス削減] 食べもののムダをなくそうプロジェクトページ

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/

飲食店等の食品ロス削減のための好事例集を更新(農林水産省)

農林水産省は、10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会と共同で、飲食店舗における食品提供、食材使いきりの工夫等を例示した「飲食店等の食品ロス削減のための好事例集」の第二版を10月11日に公表しました。

この事例集では、飲食店舗における食品提供、食材使いきりの工夫等を事業者から幅広く収集し、各事例の「取組の特徴とポイント」、「具体的な取組内容」、「実施効果」を紹介しているもので、平成30年10月に第一版として29事例が公表されていましたが、今回新たに28事例が追加されました。

つくる責任・つかう責任を果たすための第一歩である廃棄物の発生抑制に向け、下記リンクから本事例集をダウンロードし、ぜひご活用ください。また、その上でどうしても発生してしまう食品廃棄物のリサイクルに向けた取組みは、SEFまでお気軽にご相談ください。



農林水産省ホームページ 外食における食品ロス対策

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/170516.html

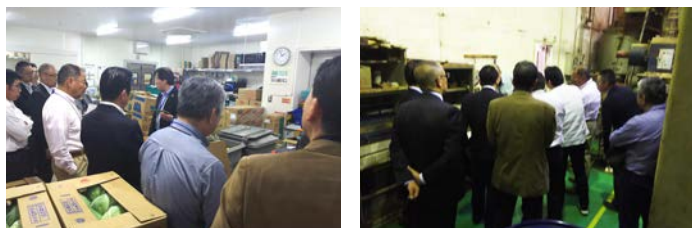
SEFでは、この4月から「2019年度ゼロエミッション研究会 実践で学ぶ！持続可能な食リサイクルのつくり方～仕組みづくりから認定取得まで～」と題し、外食事業者の皆様を対象に、持続可能な食品リサイクルループの構築に関する知識やノウハウを学びながら、愛知県名古屋市を舞台に、再生利用事業計画の認定を受けて食品リサイクルループを開始することをゴールとした取組みをスタートし、これまで4月、6月、8月と3度の勉強会を実施してきました。

そして、去る10月17日(木)には愛知県名古屋市にて、今回の取組みに再生利用事業者として参加予定の中部有機リサイクル(株)が運営する飼料化施設の視察を主な目的とした見学会を開催しました。

【排出事業場視察】

食品関連事業者の担当者は尾張一宮駅に集合。まずは、食品リサイクルループに取組む排出事業場として、ユニー(株)様のご協力を得て、テラスウォーク一宮を視察しました。

テラスウォーク一宮には今回参加予定の食品関連事業者のうち丸亀製麺とリンガーハットがテナントとして入っており、2店舗における廃棄物の分別状況を視察したのち、アピター宮店の生鮮・鮮魚部門でのバックヤードにおける分別の取組みと、テラスウォーク一宮の廃棄物庫を視察。分別・計量・保管方法など参考になる部分が多く、参加者の皆さまは熱心に写真やメモを取っていました。



【施設視察・確認事項の共有】

その後、中部有機リサイクルの飼料化施設に移動。収集運搬業者、生産者など今回の食品リサイクルループ構築に関わる予定の担当者と合流し、施設紹介のVTRを視聴したあと、飼料化工程の視察を行いました。

工程の視察においては、第3回勉強会で講師の志岐理事からレクチャーを受けた処理状況確認のポイントを踏まえ、リスク管理・法令順守の観点から委託先にふさわしいかという視点も念頭に置いたうえで、質疑応答が活発に行われていました。

その後、会議室に移動し、食品リサイクルループの構築に向けた確認事項の共有を行いました。

今回のループ構築に関わる全ての関係者との顔合わせを完了し、排出事業場・飼料化施設の視察を終え、これからは実現に向けた実務的な調整をスタートしてまいります。

SEFからの **おしらせ**

まだ参加
できます！

次回は1月23日(木)

次回は1月23日(木)に、東京八重洲ホール(東京駅そば)で第4回勉強会を予定しております。研究会の様子は随時、ホームページ等で公開してまいります。今回からのご参加も大歓迎です。ご参加をご検討、ご希望の方には過去の勉強会資料と議事録をお持ちし、ご説明に上がりますので、お気軽にご連絡ください。

内容の詳細、お申込みはSEFホームページ下記リンクをご確認ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>

見学会 参加事業者一覧

<協力> (排出事業場視察)

ユニー(株)様

<食品関連事業者> (五十音順、敬称略)

(株)セブン&アイ・フードシステムズ /

トリドールホールディングス(株) /

(株)はなまる / (株)松屋フーズ /

(株)リンガーハット / ワタミ(株)

<関係事業者> (役割順、敬称略)

収集運搬：三和清掃(株)

再生利用事業者：中部有機リサイクル(株)

配合飼料メーカー：日本農産工業(株)

鶏卵生産者：三州食品(株)



森林再生事業 活動報告

9月の活動報告(定例活動) 日向の森(千葉県山武市)

9月8日から9日未明にかけて関東地方に上陸した台風15号は、南関東を中心に大きな被害をもたらし、特に千葉県においては記録的な暴風などにより、各地に深い爪痕を残しました。このたびの台風により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この台風の影響により、9月23日に日向の森で予定していた森林体験イベントは中止とし、14日および23日に熟練ボランティアスタッフの協力を得て、日向の森を中心に、作業道および散策路への倒木の除去作業を行いました。また、2017年から毎年植樹を行ってきたスギの苗木も多くが風に倒れてしまったため、その復旧作業も実施しました。

※この企画は公益社団法人国土緑化推進機構の「緑の募金」の支援を受けています。



森林再生事業 活動報告

9月の活動報告(イベント・調査) 東御の森(長野県東御市)

<第6回 東御の森・市民の集い>

9月29日(日)、晴れわたった秋空のもと、東御市との共催にてスタッフを含め26名の参加を得て開催しました。川辺での水遊び、ロープを使った遊び、木の実の観察など、親子で秋の森をゆっくりと楽しみました。

木の葉や折り紙などを使用して、「東御の森の樹」も作成。今年は1本、来年、再来年と増やしていきます。

森内でのプログラムは、NPO法人やまぼうし自然学校にサポートいただきました。

<長野大学環境ツーリズム学部 自然調査演習>

翌30日(月)には、長野大学環境ツーリズム学部学生による自然調査演習が今年も実施されました。今回で4年目になります。森内を流れる所沢川(しょざわがわ)は信濃川水系の千曲川上流にあたります。

水生生物や水を採取、今後の授業で分析し、所沢川調査地点における水環境の現状について考察した報告書として毎年まとめて頂いています。

なお、10月中旬に発生した台風19号により、東御の森が所在する長野県東御市も大きな被害が発生しています。被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。



11月・12月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中!



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、

兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。

11月・12月の活動予定

千葉県山武市

11月9日(土)、11月23日(土)、12月21日(土)

兵庫県丹波市

11月17日(日)、12月21日(土)

大分県臼杵市

11月16日(土)

※日程は変更となる可能性があります。

最新の情報はホームページを参照ください。 <https://goo.gl/uEt3CZ>

企業・団体向け 森林体験プログラム 「森活」のご案内

Let's do Morikatsu together!



SEF がご提案する「森活」とは、「森を活かす」こと。

“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。

フィールドとしてご用意するのは日向の森（千葉県山武市）。都心からおよそ90分の好アクセスで、企業・団体の皆様の「森活」をお手伝いします。

皆様のご要望に応じたメニューをご提案しますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち



薪割り



森林散策



クラフト

